西武健康保険組合 第2期データヘルス計画概要

健康課題	対策の方向性	事業名	目標
性学健康診太の妥談家点し	被保険者:受診率の低い事業所に受診の徹底、 提出データの精度アップを図る 被扶養者:受診券を事業所経由ではなく、 直接郵送する	特定健診受診案内	被扶養者特定健診
			H28 H29 H30 H31 H32 H33 H34 H35
			対象者数 5,632 5,990 6,000 6,000 6,000 6,000 6,000 6,000
			受診者数 1,831 2,093 2,400 3,000 3,600 4,200 4,800 5,400
			受診率 32.5% 34.9% 40% 50% 60% 70% 80% 90%
			特定保健指導
特定保健指導の実施率向上	・被保険者:事業主実施の定期健康診断会場に おける特定保健指導の実施・被扶養者:利用券の直接郵送	特定保健指導	H28 H29 H30 H31 H32 H33 H34 H35
			対象者数 3,358 3,799 3,800 3,800 3,800 3,800 3,800 3,800
			終了者数 85 366 550 800 1,100 1,400 1,700 2,100
			実施率 2.5% 9.6% 14.5% 21.1% 28.9% 36.8% 44.7% 55.3%
			※実施率が以下の基準を下回ると後期高齢者支援金の 加算対象となる。(実施率に応じ0.5%~5%) H29年度の後期高齢者支援金は23億円。
			特定保健指導実施率
			年度 H29 H30 H31
			% 2.75 5.5 10.0
ジェネリック薬品利用促進	年2回、調剤費上位1,000名にジェネリック 通知配布・ジェネリックシール配布	ジェネリック	ジェネリック薬品利用率 (数量)
			後発医薬品数量 ÷ (後発医薬品数量 + 後発品あり先発医薬品数量)
			H28 H29 H30 H31 H32 H33 H34 H35
			被保険者 69.6% 71.7% 75% 80% 80% 80% 80% 80% 80% 80% 80% 80% 80
			合計 62.9% 65.5% 70% 75% 80% 80% 80%

健康課題	対策の方向性	事業名	目標
医療費削減	人間ドック、各種検診の利用により早期発見早期治療に結びつけ医療費の削減に繋げる	各種検診	病類別医療費推移 100,000
			102,000 100,000 88,000 94,000 91,855 91,592 90,000 2013 2014 2015 2018 2017 年度 ・本人、家族とも医療費が右肩上がりである。 ⇒各種検診を受診、健康意識を高め、 医療費の伸びを抑制する。